

科名: 住居環境科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	住居論	必須	I・II期	2	2
教科の区分	専攻学科					
教科の科目	建築計画					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
総合建設業における意匠設計業務 工務店(住宅)における意匠設計業務 設計事務所における意匠設計業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
住宅の計画手法を学びます。	①	住宅の基本概念を知っている。				
	②	住宅史を知っている。				
	③	独立住宅の計画の仕方を知っている。				
	④	各種各部別計画の仕方を知っている。				
	⑤	集合住宅の設計の手法を知っている。				
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	住宅設計に必要なデザイン手法や建築用語についてはしっかり復習しておいてください。また、一般的な住宅の構造および設備の常識を整理しておくことが大切です。
授業科目についての助言	住宅設計に必要な設計プロセス(デザインを進める方法と詰め方から全体配置の構成まで)、住宅史の歴史の変遷を学ぶことで、今後の住宅企画設計において応用できる能力を身につけることができます。また、独立住宅だけでなく、集合住宅における駐車場の計画や公園や溜まり場を含む共用スペース等、周辺道路や周辺施設、法規上の用途との関係など一団の配置計画の計画手法についても理解できるようになります。 実施設計に必要な知識について理解し応用できるようになることが本講座の主要なテーマです。建築の基本である住宅に関連する講座です。基礎技術を確立している建築技術者となるため、ポイントをしっかりと把握して理解してください。
教科書および参考書	教科書:住むための建築計画(彰国社)
授業科目の発展性	

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	試験						合計
		試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	
評価割合		80					20	100
	授業内容の理解度	20						
	技能・技術の習得度	20						
	コミュニケーション能力							
	プレゼンテーション能力							
	論理的な思考力、推論能力							
	取り組む姿勢・意欲	40						20
主体性・協調性								

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	住宅の基本概念(住まいのあり方)	講義	住まいのあり方について復習してください。
2週	住宅の基本概念(住まいの形態)	講義	住まいの形態について復習してください。
3週	住宅史(支配層の住宅と庶民の住宅)	講義	日本の中世の住宅形式を復習してください。
4週	住宅史(モダニズム建築と住宅様式)	講義	近代建築の住宅を復習してください。
5週	独立住宅の計画	講義	敷地、配置(ロケーション)の設定について復習してください。
6週	独立住宅の計画	講義	平面計画に必要なゾーニング計画について復習してください。
7週	独立住宅の計画	講義	構造計画について復習してください。
8週	独立住宅の計画	講義	設備計画について復習してください。
9週	独立住宅の計画	講義	全体のまとめをおこないます。
10週	各部各部位の設計	講義	プライベート空間の計画の仕方について復習してください。
11週	各部各部位の設計	講義	家族、共用の空間の計画手法について復習してください。
12週	各部各部位の設計	講義	サニタリー空間について復習してください。
13週	集合住宅の計画	講義	住戸形式、現存する集合住宅の内容について復習してください。
14週	集合住宅の計画	講義	全体配置計画について復習してください。
15週	集合住宅の計画	講義	各住戸の平面計画の方法について復習してください。
16週	集合住宅の計画	講義	全体の構造計画について復習してください。
17週	集合住宅の計画	講義	全体の設備計画について復習してください。
18週	確認試験	試験	全体計画の総まとめをおこないます。